

つながる・ひろがる！

一般社団法人
コミュニティネットワーク協会

100年コミュニティ

子どもから高齢者まで、さまざまな価値観を持つ人たちが、世代や立場を超え、
お互いの生活を尊重しながら、ともに支え合う仕組みのある「まち」づくり。
それが一般社団法人コミュニティネットワーク協会の提唱する「100年コミュニティ」です。

[67号の目次]

手頃な価格で良質な住宅とコミュニティづくり、那須ではじまりました	p1
【お知らせ】2019年3月より本部事務所を豊島区に移転しました！	p3
【お知らせ】地域プロデューサ養成講座、締切間近です	p3
那須支所便り	p4

手ごろ価格で良質な住宅とコミュニティづくり、那須ではじまりました

2006年に「那須100年コミュニティ構想」をスタートさせ、その一部であるゆいま～る那須が2011年に開設しました。ゆいま～る那須は当協会が目指す100年コミュニティの実現をめざす住まいです。昨年、開設した那須まちづくり広場は100年コミュニティの構想考えをより進めることを目的としたものですが、その那須まちづくり広場でいよいよ住宅づくりが始まりました。

5月から手ごろ価格で良質な住宅とコミュニティづくりをめざして毎月「参加型！高齢者住宅と多世代住宅をつくる会」を開催しています。参加いただいたみなさまからのご意見をとりいれ9月末までに企画案をまとめる予定です。



超高齢社会、格差社会が急速に進む中で、那須まちづくり広場では運営を通して、地域の方々から介護や福祉、生活に関する様々な相談を伺っています。最後まで安心して、尊厳が守られて暮らせる助け合いのあるコミュニティづくりは必須であると考えています。

コミュニティづくりの一環として、

「最後まで住み慣れた町で暮らし続けるために」と題したシリーズでのセミナーも始めました。第一回は7月28日（日）、日本通信大学教授の高橋紘士さんをお招きして「最後まで暮らし続けられる住まいとケアとは」というテーマで開催しました。お話は社会や住まい、介護の在り方など非常に多岐にわたりました。参加者には介護や医療に携わる専門性の高い方も多く、これからの住まい方、暮らし方、ケアの在り方を考える良い機会となりました。特に1970年代の社会構造や経済成長モデルの在り方を前提にしてつくられている現在の社会システムは、超高齢化

社会、格差社会が急速に進む社会で急速に崩壊していること。連綿と続いていたコミュニティ文化や、住まい・福祉・地域の互助などの安全保障のシステムから人々が置き去りにされている日本社会の状況について、様々なデータを交えご紹介されていたのが印象的でした。

また、そのような中で新しい社会システムを作り、地域のコミュニティをつなげている様々な取り組みについてもご紹介いただきました。新しい形の福祉・保育・食・介護・障害者雇用などを複合的に行う地域の交流拠点や、地域の中で患者が自分らしく住まう場所やケアを提供する医療従事者やプロ・ボランティアのお話など、地域の中で人と人をつなげられる場所や専門性の高い人材の重要性についてお話いただきました。講演会後の質問では、移住してふるさとのない自分はどう暮らしていったらいいのか、不安に思うというお声を数人からいただきました。専門性の高い方からは新しい福祉の在り方や、看取りを行える場づくりを実現したいという強い思いや期待をいただきました。



ご講演の中でも、これからの住まいや安心して暮らせる場所は、時代や状況に合わせて私たち一人ひとりが作っていかねばならない。そのためには地域コミュニティを大切にしたい人のつながりや交流の拠点となる場所、ハブとなる人が重要になるというお言葉をいただきました。那須まちづくり広場は小さな交流拠点として、日々の運営を通し、その役割の一端を担っていきます。当協会那須支所としても力を尽くしてまいります。

シリーズの2回目は、リハビリデザイン研究所代表の山田譲さんから「介護現場の虐待を考える」と題しての講演会をいたします。リハビリデザイン研究所は生活で使っていくことでリハビリに寄与するトイレやお風呂など製作し、最後まで機械浴をしないことを基本としています。これまでも那須まちづくり広場で介護セミナーを開催して、具体的でわかりやすいと好評をいただいています。

手ごろ価格で良質な住宅とコミュニティづくり、力強く進めていきます。この活動に参加いただける方を募集しています。関心ある方へのご紹介も大歓迎です。

◎シリーズ「最後まで住み慣れた町で暮らし続けるために」

第二回 介護現場の虐待を考える～最高の介護をするより最低の介護をするな～

日時：9月27日（土）18時半～20時

会場：那須まちづくり広場 2-1 教室 参加費：500円

講師：山田譲（リハビリデザイン研究所代表） 問合せ：0287-74-3434

◎高齢者住宅と多世代住宅をつくる会

日時：9月7日（土）14時～15時半、10月5日（土）14時～15時半、

会場：那須まちづくり広場 2-1 教室 参加費：無料

担当：佐々木敏子

問合せ：0287-74-3434

【お知らせ】2019年3月より本部事務所を豊島区に移転しました！

この度、有楽町より新しい拠点となる本部事務所を豊島区南池袋に移し、半年が経過しました。

新しい事務所は池袋駅前を通る明治通りを目白方面に5分ほど進んだところにあり、周辺は西武デパートに隣接した利便性の高さと、庶民的な商店街の顔を併せ持った面白い街です。当事務所の入っているビルの1階にある「たい焼き屋さん」は、中々の評判で周辺で働いている人や学生さんの人気の的ですよ。

併設の高齢者住宅情報センターでは高齢期の住み替えや地方への移住をお考えの方のご相談をお受けしています。お気軽にご連絡ください。

また、この程「フリーダイヤルの電話」を中止しました。03-6256-0570（一般社団法人コミュニティネットワーク協会）、03-6256-0571（同高齢者住宅情報センター）の番号は変わりません。ご相談のお電話をお待ちしております。

【お知らせ】地域プロデューサー養成講座、締切間近です

前号で詳しくご紹介した今年度の地域プロデューサー養成講座、お申込み締切は9月6日（金）ですが、多少遅れても大丈夫です。地方創生の第一期5か年計画最終年の今年、新しく地域でのまちづくりに挑戦しませんか？ 講座費用は4万円ですが部分受講も可能ですのでお気軽にご相談ください。（電話 03-6256-0570）

【カリキュラム（抜粋）】

9月14日（土） 会場：東京家政学院大学（市ヶ谷駅から徒歩8分）

- ・生涯活躍のまちの次のステージに向けて～次期総合戦略の検討状況等(仮)
(中野孝浩・内閣府まち・ひと・しごと創生本部参事官)
- ・戦後日本の住宅政策の変遷と課題（松本暢子・大妻女子大学教授）
- ・対談：「一人ひとりが豊かに生ききるまち」を自分たちでつくる」
(山崎亮・コミュニティデザイナー、近山恵子・コミュニティネットワーク協会)

9月15日（日） 会場：東京家政学院大学（市ヶ谷駅から徒歩8分）

- ・生活者の視点から見たまちづくり(上村協子・東京家政学院大学現代家政学部教授)
- ・まちづくりにおける自治体の役割(木村清一・元柏市福祉部長)

- ・まちづくり活動を共創する～千葉県柏市・布施新町みらいプロジェクト～
(菅原育子・東京大学高齢社会総合研究機構特任講師)

9月16日(月) 会場：那須まちづくり広場 (JR新白河駅からタクシー約25分)

～那須100年コミュニティ構想の実現～

- ・那須100年コミュニティ構想について (近山、鎗木)
- ・那須まちづくり広場見学、コミュニティカフェ「ここ」で昼食
- ・ゆいま～る那須、森林ノ牧場 見学 (以後、話し合い)

那須支所便り

前号でも那須まちづくり広場のご報告をさせていただきました。それ以降もご紹介したい動きが那須にはたくさんあります。今回は3点ご報告をさせていただきます。

(1) めぶきアワード「奨励賞」を受賞

那須まちづくり広場は足利銀行、常陽銀行が主催する「めぶきビジネスアワード」に応募、奨励賞を受賞しました、6月21日に授賞式がありました。「めぶきビジネスアワード」は地域経済を牽引するような新たな事業を生み出すためにビジネスの種や地方創生のアイデアを募集するもので今回が3回目になります。那須まちづくり広場は「生涯活躍の町に・新しい学びと新しいコミュニティの拠点づくり」と題したビジネスプランを提出しました。上位入賞ではありませんでしたが、応募571件で受賞27件ですので、価値ある受賞であることは間違いありません。多くの受賞が製品開発等だったので「まちづくり」で受賞した那須まちづくり広場は注目をいただきました。

この賞の特徴として、賞の受賞で終わるのではなく、受賞したプランにはこの両銀行がビジネスのパートナーとして寄り添うことになっているところです。提出したプランは現在計画検討している高齢者住宅と多世代住宅の建設などです。その実現に向けて大きな力をいただきました。



(2) 一周年ありがとう祭を開催しました

2018年4月に旧朝日小学校の廃校活用として始まった那須まちづくり広場の一周年を記念して、6月29日(土)、30日(日)に『那須まちづくり広場の一周年記念ありがとう祭』を開催しました。

おかげさまでたくさんの方にご参加いただき、29日は講演会、映画、バーベキュー。30日は36店舗が集う校庭マルシェ、コンサート、卓球プロコーチの練習会、森林ノ牧場朝日小プラ

ントでのオリジナルミルクバーづくりなど、盛りだくさんの開催となりました。

前夜祭での「奇跡の小学校の物語～この学校はなくさない！を観て語る会」は特に素晴らしい機会でした、“学校をなくさない”との想いが学校を再生させたこの物語、深い共感をもって、観て語りました。



(3) 防災イベント「HUG（避難所運営ゲーム）」がNHK・栃木テレビで紹介

那須まちづくり広場は災害につよいまちづくりをめざしています。再生した旧朝日小学校は町の防災拠点でもあることから、いざ災害が起こり避難所となったとききちんと行動できるように、「HUG（避難所運営ゲーム）」を使った訓練を行いました。HUGは5～6名でチームを組んで「車椅子の方と介助者が避難に来られた」など避難所で実際起こるであろうことが書かれた250枚のカードを用いて自分達の避難所をどう運営するかを学ぶゲームです。主に那須まちづくり広場の運営に関わるメンバーでゲームを実施し、大変勉強になりました。NHK、とちぎテレビに取材をいただいたのであわせてご紹介いたします。

(NHK) <https://www3.nhk.or.jp/lnews/utsunomiya/20190827/1090005169.html>

入会のご案内

一般社団法人コミュニティネットワーク協会は、ひとりの市民からの寄付で始まりました。

神戸で在宅医療に取り組んできた医療チームが中心になって、阪神淡路大震災の復興を機に、1999年に設立された一般社団法人です。在宅医療や介護・福祉を、地域で支える取組みは皆様の力が支えとなります。社会に問いかけ、進めてまいります。

〒100-0006 千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル(南館5階)
TEL:03-6256-0570 FAX:03-6256-0572

立寄り案内 JR山手線「有楽町」駅 日比谷口より徒歩約2分、東京41口 日比谷線「千代田線」都営三田線「日比谷」駅 A3出口より直進、東京41口 有楽町線「有楽町」駅 D2出口より徒歩約3分

〒530-0012 大阪市北区芝田 1-4-8
北阪ビル7階
TEL:06-6375-8830
FAX:06-6375-8831

立寄り案内 阪急・池袋線「梅田」駅より徒歩3分、JR「大塚」駅より徒歩5分。

編集だより

池袋の事務所もやっと事務所らしくなってきました。仕事の後に事務所で一杯、これがまた楽しい。お近くにお越しの折はぜひお寄り下さい。次号には、奈良・吉野のプロジェクトをご紹介します予定です。(K)

つながる・ひろがる！100年コミュニティ

67号(2019年9月1日発行)

発行 一般社団法人コミュニティネットワーク協会
〒171-0022

東京都豊島区南池袋 3-13-9 ビスハイム池袋 202

発行人 渥美京子

TEL:03-6256-0570 FAX:03-6256-0572

<http://www.conet.or.jp/>